

箱根の歴史回廊を歩く

芦ノ湖・芦ノ湯 歴史散歩 2



発行者 箱根町教育委員会生涯学習課
〒250-0311 箱根町湯本 266 TEL0460-85-7601
H23. 5. 29 初版 H27. 5. 1 改訂
R5. 10. 1 三訂版

「頼朝の信仰の道」コース

中世の湯坂路 曾我兄弟の墓

「信仰の道」を見て、歩く



コースの見どころ

箱根神社 (神社、宝物殿、曾我神社など)、
箱根権現別当の墓地、箱根神社元宮 (駒ヶ岳山頂)、
山のホテル (旧岩崎男爵別荘「見南山荘」) のツツジ、

箱根芦ノ湖成川美術館、箱根園水族館、
玉村豊男ライフアートミュージアム、
石碑類：桃李園狂歌碑 (箱根神社入口付近) など

箱根の石仏群～箱根神社

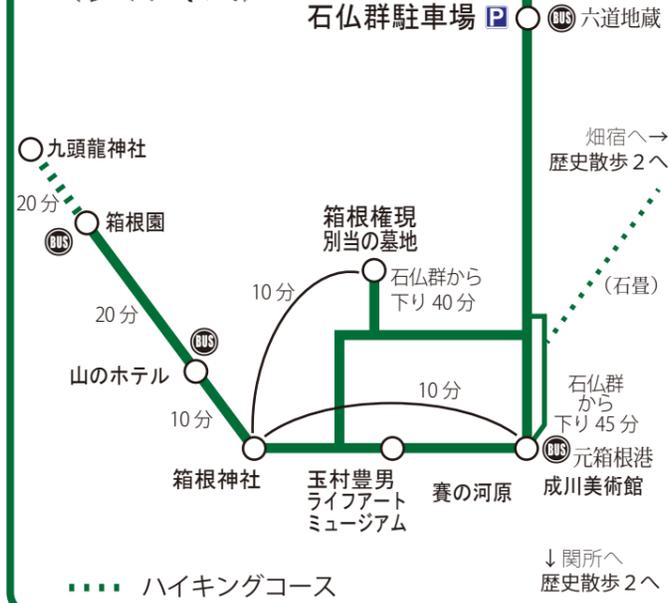
このコースの見所は、何といたっても箱根神社でしょう。芦ノ湖畔に面した元箱根地区は、箱根神社の門前町として栄えた歴史のある町です。

奈良時代の天平宝字元年 (757) 創建と伝わる箱根神社 (当時は箱根権現) には、歴史を物語る数多くの文化財が伝えられています。

箱根神社宝物殿には、平安時代の万巻上人坐像 (まんがんしょうにんざそう) や鎌倉時代の箱根権現縁起絵巻 (はこねごんげんえんぎえまき)、鉄湯釜 (てつゆがま) などの重要文化財が納められています。

鎌倉時代、この箱根神社に源頼朝が参詣するようになり整備されたのが湯坂路で、やがて多くの人びとが箱根越えに、この道を使うようになりました。箱根の石仏群は、こうした歴史の

コースタイム (歩行時間)



中で生まれたと言えるでしょう。

石仏群と箱根神社を結ぶこの道を歩けば、中世の箱根の歴史にふれることができる道でもあります。

曾我兄弟と箱根神社

箱根神社には、石仏群とも関わりがある、曾我兄弟にちなむ話が伝わっています。

日本三大仇討ちの一つ、曾我兄弟による仇討ちは、鎌倉時代の建久4年 (1193) の出来事で、その話は「曾我物語」となって語り継がれてきました。兄弟と箱根は縁があり、父を失った後、幼かった弟の五郎は、箱根権現に預けられていました。しかし五郎は、成長すると権現を飛び出し、兄の十郎と共に仇を討ち果たしますが、兄は討

ち死にし、弟も最後には捕まり処刑されてしまいました。現在、箱根神社の境内には曾我神社があり、兄弟の御霊が祀られ、命日の5月28日に祭祀が行われます。

また、宝物殿には、兄弟の木像や、五郎が父の仇、祐経に出会ったときに仇討ちを思い止まるように諭され、もらったという「赤木柄短刀」(複製) などが収蔵されています。

箱根神社と九頭龍神社

箱根神社には、創建者である万巻上人が芦ノ湖の毒竜を退治した伝説があります。万巻上人によって心を改めた毒竜は九頭竜となり、芦ノ湖の守り神となって、九頭龍神社 (本宮) に祀られるようになりました。同神社は、近年では縁結びの神として多くの参拝客を集めています。

7月31日に行われる湖水祭では、箱根神社境内にある九頭龍神社新宮で式を行ない、宮司一人が御供船に乗り、本宮沖の湖上で竜神に三升三合三勺の飯を捧げます。

旧「見南山荘」のツツジ (小田急山のホテル)

実業家・岩崎小彌太 (男爵。彌太郎の甥、1879 - 1945) は、明治44年 (1911) に、10万坪にも及ぶこの辺り一帯を手に入れ、別邸を建てました。庭園には、ツツジ・シャクナゲを植えました。その別邸は、男爵の師で漢学者の諸橋轍次により「見南山荘 (けんなんさんそう)」と名付けられました。

見南山荘は、現在小田急山のホテルとなっていますが、別荘時代に植えられたツツジは、今も変わらずに山のホテルの庭に咲き誇り、箱根のツツジの名所の一つとなっています。